

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに拡大している

福岡県の景気は、生産活動が高水準で推移しているほか、個人消費についても緩やかに増加している状況にある等、総じてみると緩やかに拡大しています。

生産活動は輸送機械が上昇する等、高水準で推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を大きく上回る等、緩やかに増加しています。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

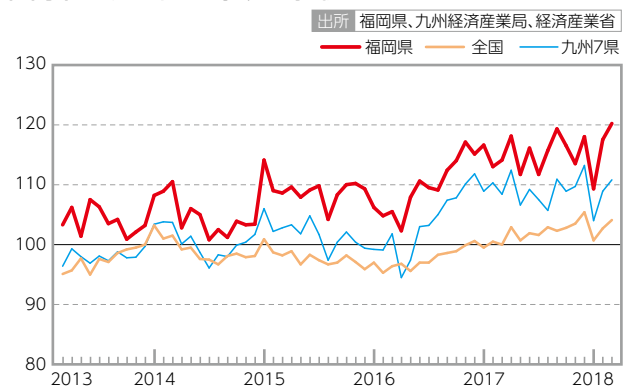
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 高水準で推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は120.2と前月比2.3%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車等の生産が増加した輸送機械が上昇する等、生産は引き続き高水準で推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 緩やかに増加している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.0%増の526億円となりました。

訪日外国人観光客数が堅調に推移していることもあり、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を大きく上回る等、個人消費は緩やかに増加しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



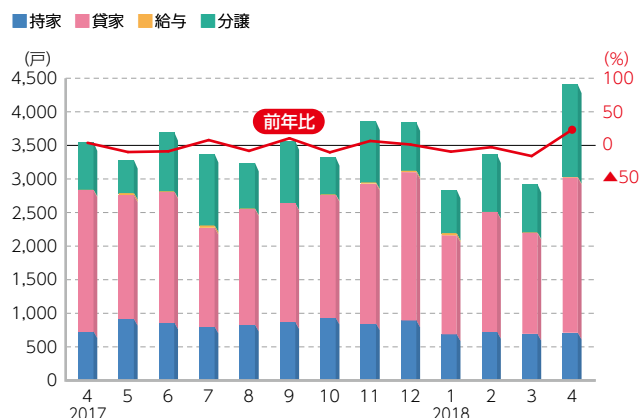
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.3%増の4,482戸となりました。

「持家」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



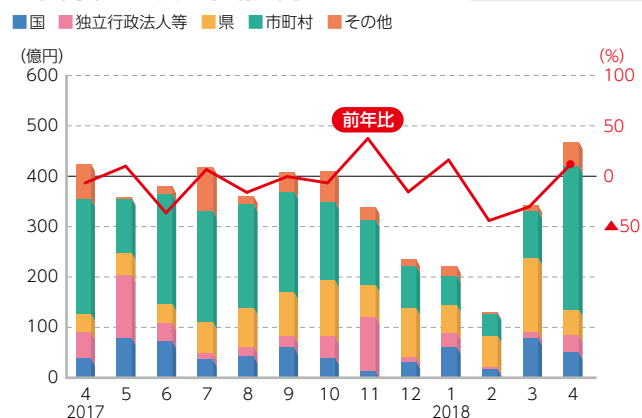
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.4%減の484件、金額が同10.1%増の473億円となりました。

発注者別では、橋梁工事があった「国」や、市庁舎建設工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比23.8%増の26件、負債総額は同86.9%減の約9億円となりました。

塗装工事業で約2億円の倒産が発生したほか、鮮魚販売業で1億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに拡大しつつある

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、生産活動が高水準で推移するなど、緩やかに拡大しつつあります。

住宅建設は3ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動ははん用・生産用機械が上昇する等、高水準で推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、回復の動きが続いています。また、公共工事でも5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

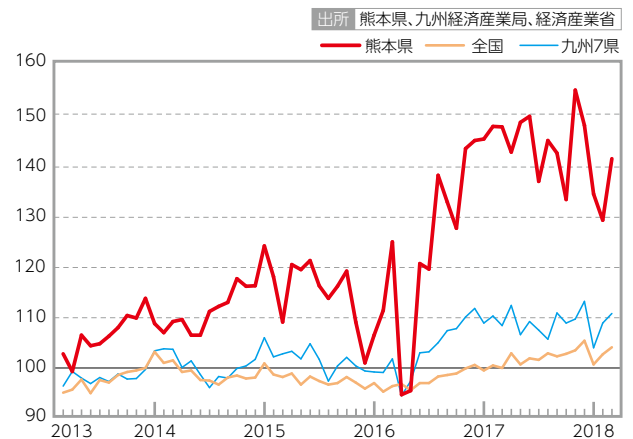
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 高水準で推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は141.5と前月比9.4%上昇しました。

主要業種では、はん用・生産用機械や、集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は引き続き高水準で推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 回復の動きが続いている

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.0%減の126億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品の動きは鈍かったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は回復の動きが続いています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



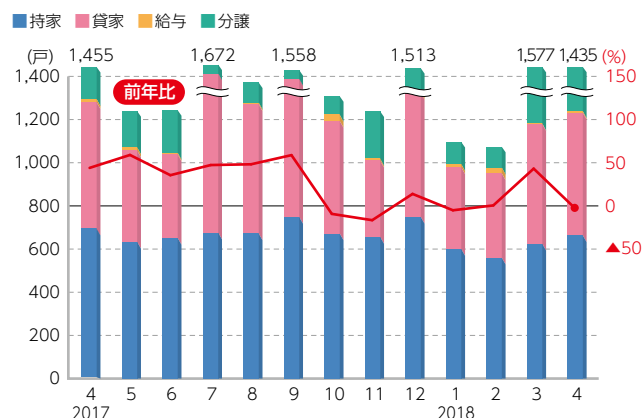
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.4%減の1,435戸となりました。

「分譲(戸建)」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



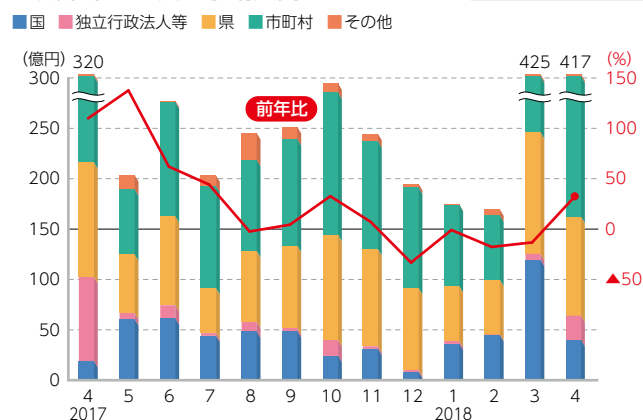
4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比23.6%減の346件、金額が同30.4%増の417億円となりました。

発注者別では、災害復旧工事があった「国」や、市民病院再建工事の大型案件があった「市町村」等が前年を大きく上回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



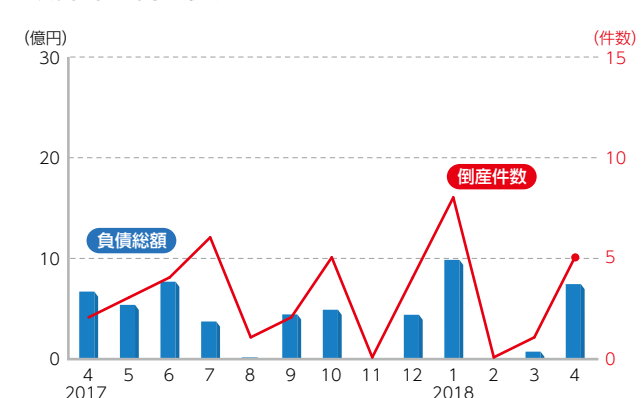
5.企業倒産 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が5件、負債総額は前年同月比10.8%増の約8億円となりました。

建築資材卸販売業で約3億円の倒産が発生したほか、ソフトウェア業で約2億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

公共工事は前年を下回る状況が続いているほか、個人消費についても全ての品目において前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動はボイラが増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しています。また、住宅建設についても5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

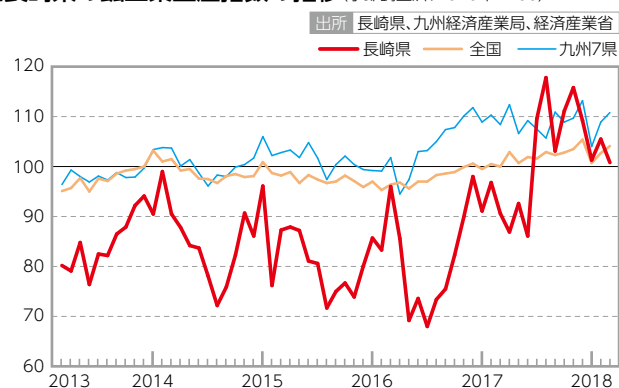
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.8と前月比4.5%低下しました。

主要業種では、シリコンウエハの生産が減少した電子部品・デバイスは低下したものの、ボイラが増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、生産は月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

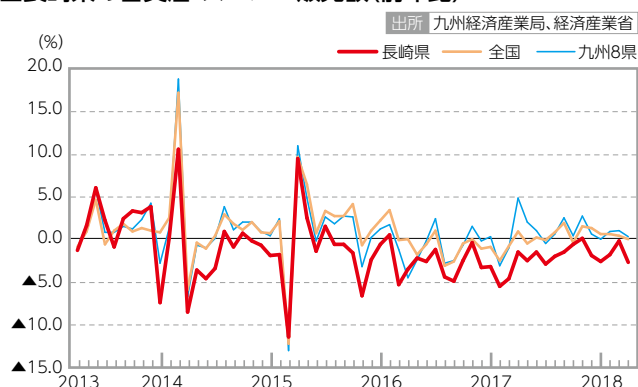


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.8%減の80億円となりました。

全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





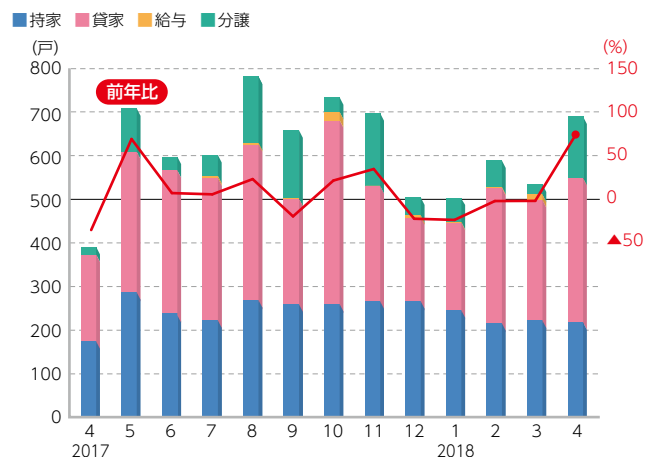
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比76.3%増の698戸となりました。

「給与」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



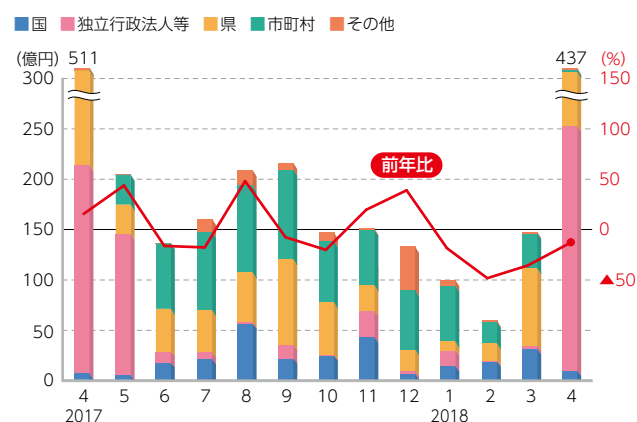
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.1%減の282件、金額が同14.5%減の437億円となりました。

発注者別では、九州新幹線トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」等が前年を上回りましたが、「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも4ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



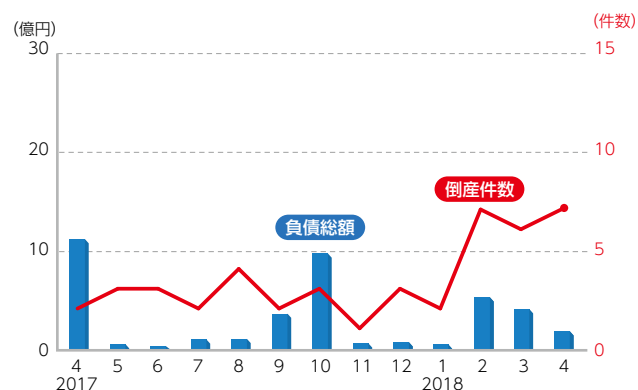
5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が7件、負債総額は前年同月比82.7%減の約2億円となりました。

1億円以上の倒産は発生せず、負債総額は前年を下回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

佐賀県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費に弱さがみられる等、総じて弱含みの兆しがみられます。

住宅建設及び公共工事は前年を上回ったものの、生産活動は開閉制御装置の生産が減少した電気機械器具が低下する等、弱含みの兆しがみられます。また個人消費についても、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。

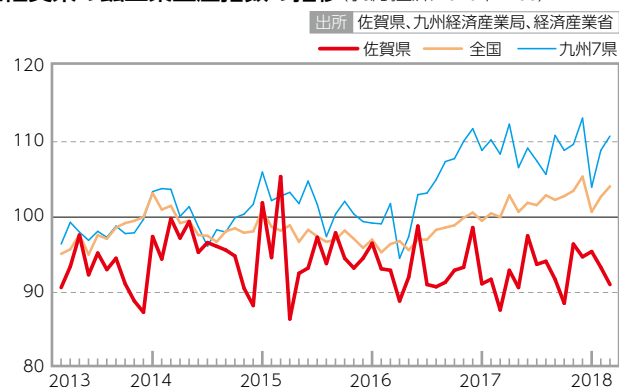
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.0と前月比2.5%低下しました。

主要業種では、化学が上昇したものの、開閉制御装置の生産が減少した電気機械器具が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

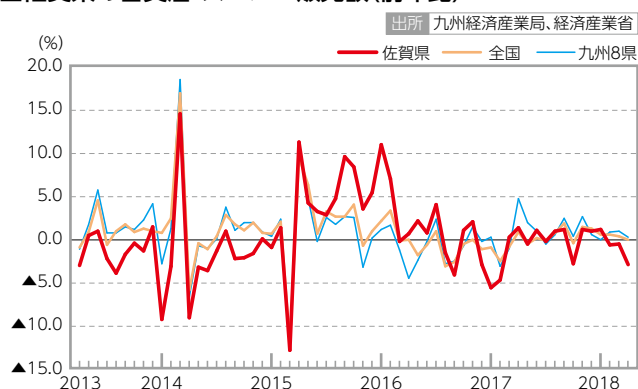


2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.0%減の49億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





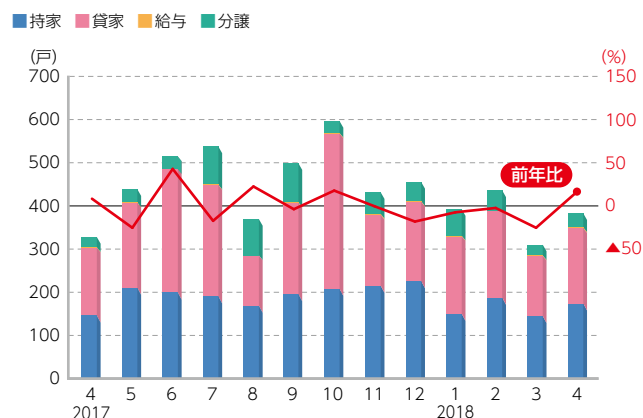
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.9%増の388戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



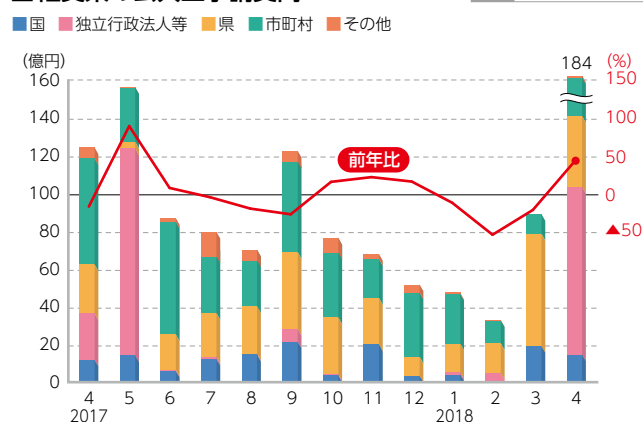
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.3%増の176件、金額が同46.5%増の184億円となりました。

発注者別では、九州新幹線高架橋工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



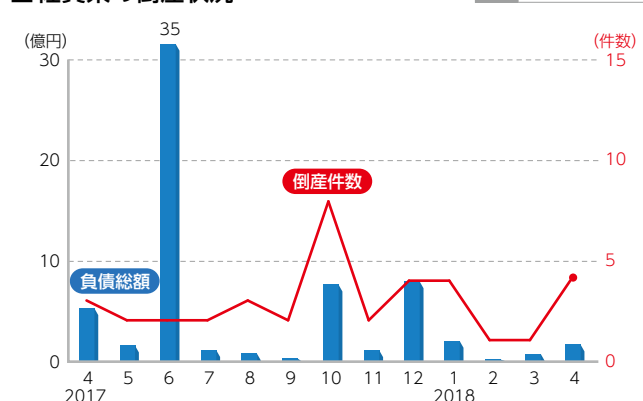
5.企業倒産 | 3ヵ月連続で前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の4件、負債総額は同67.7%減の約2億円となりました。

1億円以上の倒産は発生せず、負債総額は前年を下回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設及び公共工事は前年を下回ったものの、生産活動は工業用プラスチック製品が増産となったプラスチック製品が上昇する等、底堅く推移しています。また個人消費についても、飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

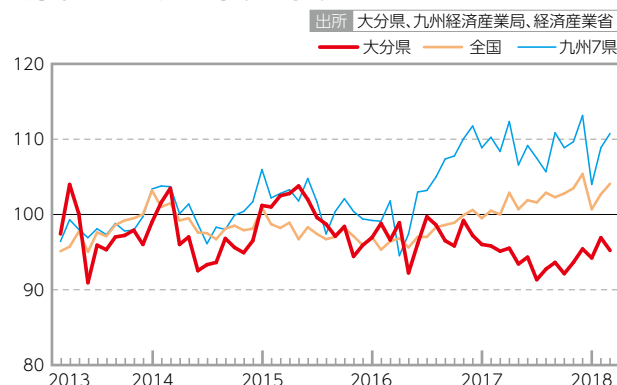
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.2と前月比1.8%低下しました。

主要業種では、石油化学系基礎製品の生産が減少した化学・石油製品は低下したものの、工業用プラスチック製品が増産となったプラスチック製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

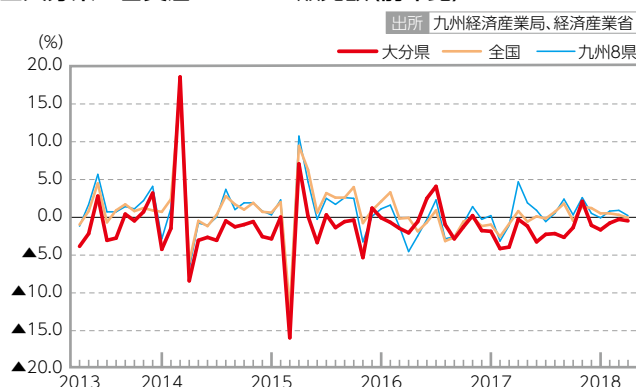


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.5%減の81億円となりました。

衣料品の動きは鈍かったものの、飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





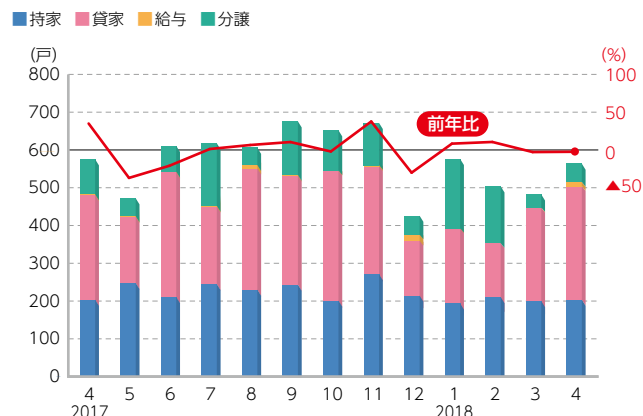
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.2%減の572戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



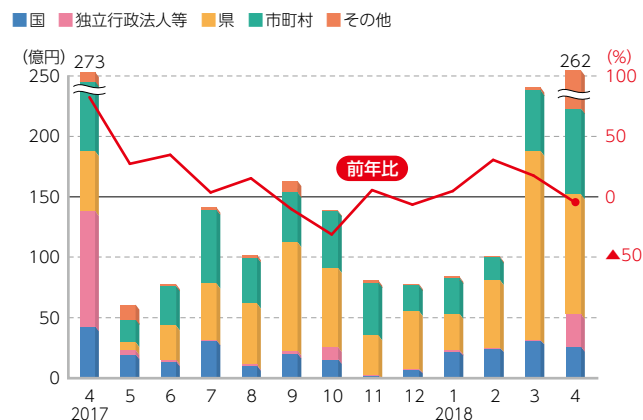
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比45.8%増の331件、金額が同4.0%減の262億円となりました。

発注者別では、発電所リニューアル工事の大型案件があった「県」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



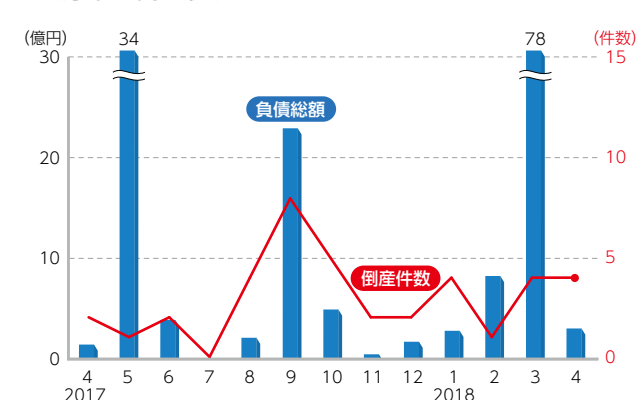
5.企業倒産 | 5ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年2倍の4件、負債総額は約3億円となりました。

洋菓子店で約2億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、生産活動が底堅く推移しているものの、個人消費に弱さがみられる等、総じてみると弱含みの兆しがみられます。

生産活動は電子部品・デバイスや食料品が上昇する等、底堅く推移しています。一方で、個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられるほか、住宅建設及び公共工事も2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

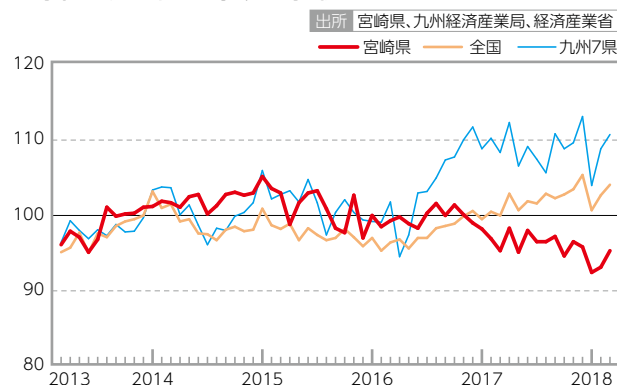
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.3と前月比2.4%上昇しました。

主要業種では、電子部品・デバイスや食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

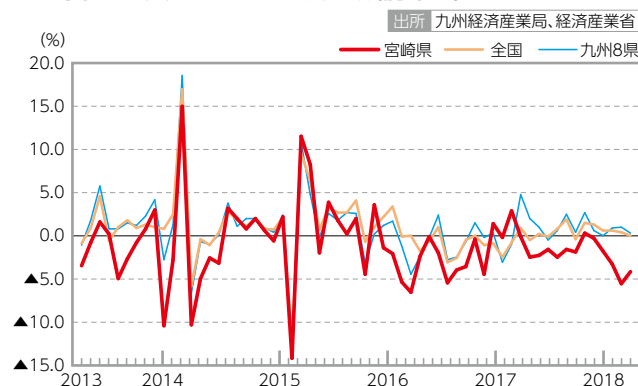


2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.3%減の53億円となりました。

化粧品や宝飾品などの高額品は前年を上回ったものの、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



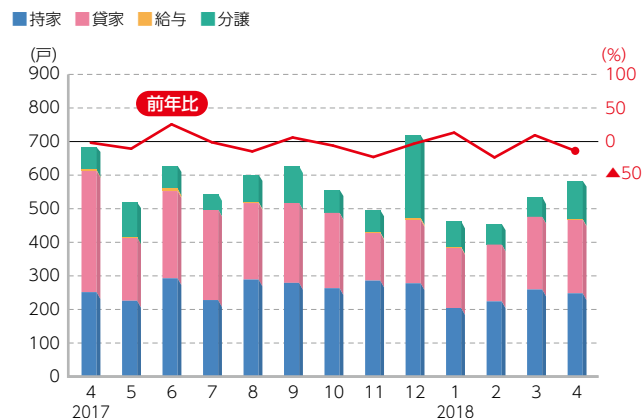
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.7%減の592戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



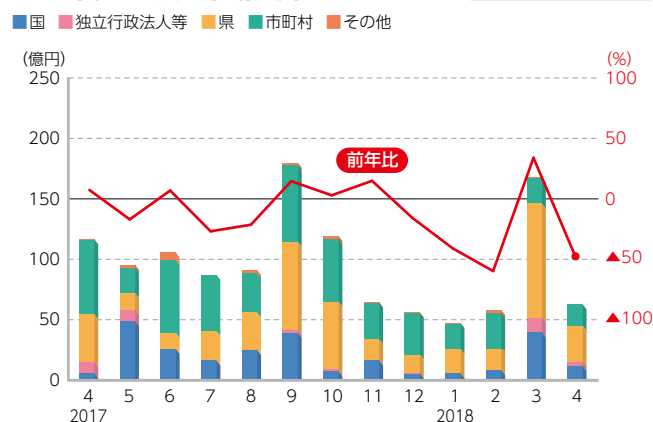
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.9%減の150件、金額が同47.0%減の62億円となりました。

「国」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



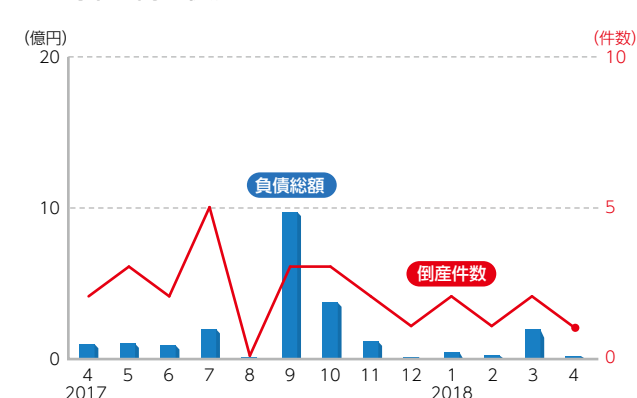
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の1件、負債総額は同80.0%減の2千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

公共工事は前年を下回る状況が続いているものの、生産活動ははん用・生産用機械や窯業・土石製品が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設も9ヵ月ぶりに前年を上回りました。

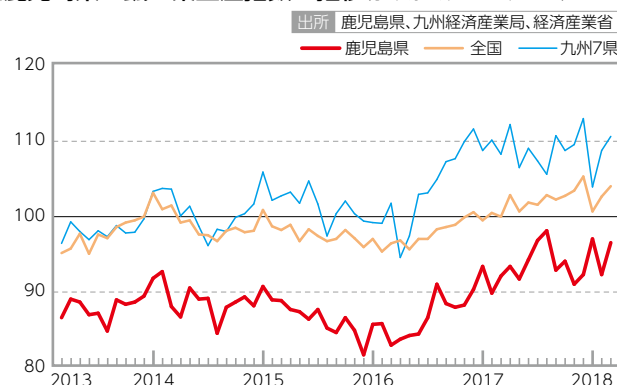
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.5と前月比4.7%上昇しました。

主要業種では、はん用・生産用機械や窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

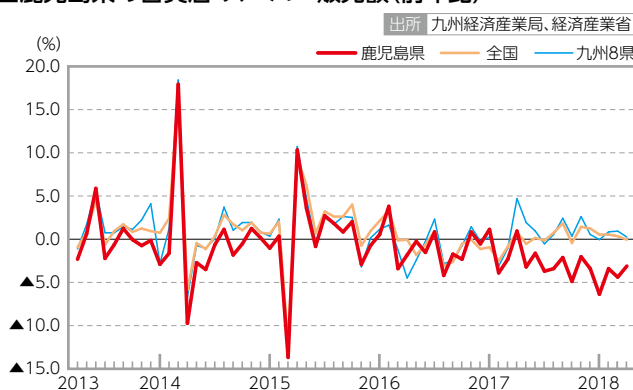


2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.2%減の117億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





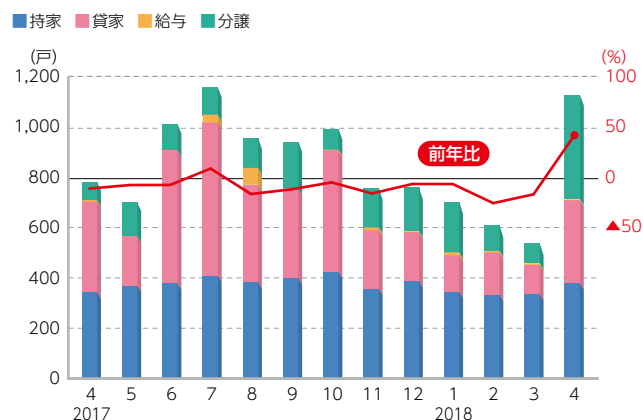
3.住宅建設 | 9ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比43.5%増の1,138戸となりました。

「貸家」「給与」が前年を下回ったものの、「持家」「分譲」が前年を上回り、全体でも9ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



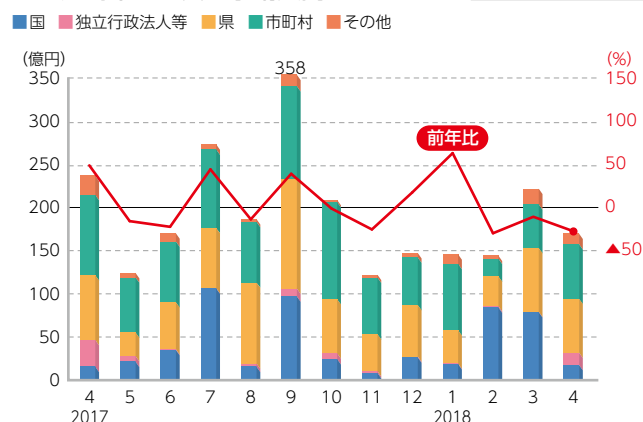
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.2%減の362件、金額が同28.3%減の171億円となりました。

「国」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年2倍の10件、負債総額は前年同月比4.7%増の約9億円となりました。

木材チップ製造業で5億円の倒産が発生したほか、ガソリンスタンドで1億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

